



追手門学院中・高等学校 英語科による公開授業を実施 中高大連携で英語教育の新たな在り方を探る

探究的な学びを基盤に、未来社会を築く力と主体的に行動する力を育む追手門学院中・高等学校（大阪府茨木市、校長：木内 淳詞）は、12 月 16 日（火）に教育関係者を対象とした英語科公開授業を開催します。

本公開授業は、これまでの英語教育を振り返り、教員間で授業設計の在り方を共有するとともに、同じ課題を持つ教育関係者との対話を通じて、今後の英語教育の方向性を共に考えることを目的としています。

当日は、中学生および高校生の英語授業を公開したのち、参加者との討議を実施します。討議には、追手門学院大学 国際学部の松宮新吾教授（博士：学校教育学）を助言者として招聘し、初等中等・高等教育を接続した形で意見交換を行います。

追手門学院中・高等学校では、これまで教員個々の裁量に委ねられがちだった授業設計を見直し、教科全体で明確なゴールを共有することで、生徒に一貫した学びを提供する「組織的な指導体制」への転換を進めてきました。

まず、「どのような力を『学力』と呼ぶか」という共通理解を持ち、生徒が卒業時に自らのアイデンティティを確立できる状態をゴールに設定。6 年間（中学 3 年＋高校 3 年）を逆算して設計した独自カリキュラムを展開しています。正解を探す力のみではなく、AI 時代に求められる「問いを立てる力」をも育むことで、生徒一人ひとりが自らのアイデンティティを築き、社会を自ら切り拓く人材を育成する教育モデルを推進しています。

当日は、中学 2、3 年生と高校 1、2 年生の英語の公開授業を行ったうえで、授業の意図や成果、現在の取り組みを共有し、参加者の方々と討議を行います。今回の公開授業は、こうした取り組みを外部に共有し、全国の教育関係者と「対話」することで、授業やカリキュラムの更なる発展を目指します。追手門学院大学 国際学部の松宮教授を助言者として迎えることで、研究領域の知見も取り入れながら、教育の接続・発展について多角的に議論を深めます。



チラシ

【追手門学院中・高等学校 英語科公開授業】

■テーマ：アイデンティティを探究する学びのデザイン

～生徒のペルソナを育む英語科の挑戦と中高大連携～

■日 時：2025 年 12 月 16 日（火）13：35～17：00（受付開始 13：10）

13：35～14：25 中学 2、3 年生授業 / 14：35～15：25 高校 1、2 年生授業 / 15：35～17：00 討論会

■場 所：追手門学院中・高等学校（〒567-0013 大阪府茨木市太田東芝町 1-1）

■対 象：校種を問わず、すべての教職員、教育委員会やその他教育関係者

■申 込：以下のフォームから事前にお申し込みください。

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSeX9DtOsqsjNjloPspQ-fsznDiG2SmPEsBCr8Yp7AJqaRaj6w/viewform?usp=header>

この資料の配付先：大阪科学・大学記者クラブ、北摂記者クラブ等

【発行元】

追手門学院 広報課

TEL：072-665-9166

蛸原・織田